

NAPAC 会員 4 社が「26th 日刊自動車新聞用品大賞 2013」の各部門賞を受賞



日刊自動車新聞社の主催による「26th 日刊自動車新聞用品大賞 2013」において当振興会会員社から（株）ワーク、住友ゴム工業（株）、（株）タルガ、ブリッド（株）の4社が各部門賞を受賞しました。詳細は次の通りです。

ホイール部門賞

（株）ワーク 「DURANDAL DD10.5」

タイヤ部門賞

住友ゴム工業（株） 「VEURO VE303」

輸入車用品部門賞

（株）タルガ 「ボルベット プレミアム CW2」

スポーティング部門賞

ブリッド（株） 「ユーロスター・プレミアム」

日刊自動車新聞用品大賞 2013 は、2012 年 4 月から 2013 年 5 月の期間に注目を集めた各ジャンルのカー用品を対象に選定されたもので、販売数量だけにとらわれず「商品の技術開発力」「企画力」「アイデア」「ユニークさ」「パイオニア精神」を重視し、カー用品量販店へのヒアリングやアンケート調査の結果も反映し、各部門賞が決定されました。

7 月 12 日（金）に都内のホテルで行われた表彰式には、（株）ワーク・田中毅社長、住友ゴム工業（株）・鈴木俊昭タイヤ技術本部第一技術部長、（株）タルガ・喜々津祐介社長、ブリッド（株）・高瀬嶺生社長が出席し、それぞれ表彰楯を授与されました。

また、今回より新設された「経済産業省自動車課長賞（特別賞）」を、茂呂運送（株）の「こころタクシー」が受賞した他、当振興会として外装パーツ CAD データの無償提供契約を締結した「トヨタ 86」が、日刊自動車新聞社創立 85 周年メーカー特別賞を受賞しました。

なお、第 2 部の懇親会では、当振興会の田中会長が来賓として出席し壇上で挨拶しました。



●ホイール部門賞（株）ワーク



●タイヤ部門賞
（住友ゴム工業（株））



●輸入車用品部門賞
（（株）タルガ）



●スポーティング部門賞（ブリッド（株））

総務省関東総合通信局様を講師に 招き「不法電波」をテーマとした 勉強会を開催

7月19日(金)

AAAL コンプライアンス委員会



当振興会が加盟していますオートアフターマーケット活性化連合（AAAL、住野公一代表）のコンプライアンス委員会主催による「不法電波」をテーマとした勉強会が7月19日（金）、東京都港区芝の機械工具会館貸会議室において開催され、AAAL コンプライアンス委員会メンバーの他、AAAL 加盟団体会員社等延べ25名が参加しました。

この勉強会は、総務省関東総合通信局電波利用環境課の方々に講師に招き実施されたものです。当日は「より良い電波利用環境のための」と並びに「無線設備試買テストの実施について」と題したレジュメをもとに、不法電波の現状と電波利用環境課の取り組み等が紹介されました。

無線技術を活用した製品（例えばFMトランスミッターや無線LAN、特定小電力レシーバー等）は、電波が微弱な場合は利用者が免許を受けなくても使えるものの、一部、微弱の範囲を超える恐れのある製品が市場に出回っているのが実情のようです。こうした製品は電波法に抵触する製品であり、電波利用環境課の調査による不法電波＝不法無線局（1製品を1局とカウント）の2011年4月～2012年3月出現局数は8903局と、1時間毎に不法無線局が出現しているとのことでした。

こうした不法無線局から出される不法電波は、携帯電話やテレビ・ラジオに障害を与える可能性が高い他、消防、救急、警察、鉄道、航空機等人命に関わる重要無線通信を妨害する事例が少なからず発生しています。

そこで総務省総合通信基盤局電波部監視管理室では、市場に流通する微弱の範囲を超える恐れのある無線設備について、消費者が購入・使用し、他の無線局の混信源となってしまう可能性を排除することを目的に、当該設備を試買して電気的特性を測定した上で、その結果を周知・公表し、併せてメーカー等に電波法の定める技術基準の適合への対応要請を行うこととしました。

試買テストは、今年8月の第1週にFMトランスミッター、



電波のルールを啓発する資料

ワイヤレスチャイム（リモコンアラーム）、ワイヤレスカメラ等100機種程度を購入して行われるもようです。このテストで不適合品との結果が出た製品については、電波法に基づく免許が必要な無線設備として総務省のホームページ上で公表されます（製品のパッケージに記載してある業者名）。なお、特定小電力機器等の中で技術基準適合証明を受けた無線設備はテストの対象外となるもようです。

その他、試買テストは向こう数年は続けられるもようです。

